

# 山口市男女共同参画センター だより

平成25年8月号

発行:山口市男女共同参画センター  
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会  
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)  
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

## 国の動き

### 女性の活躍促進に向けた施策

安倍内閣では、女性の力の活用や社会参画の促進が日本の強い経済を取り戻すために不可欠との認識に基づき、全ての女性が生き方に自信と誇りを持ち、輝けるような国づくりを目指しています。

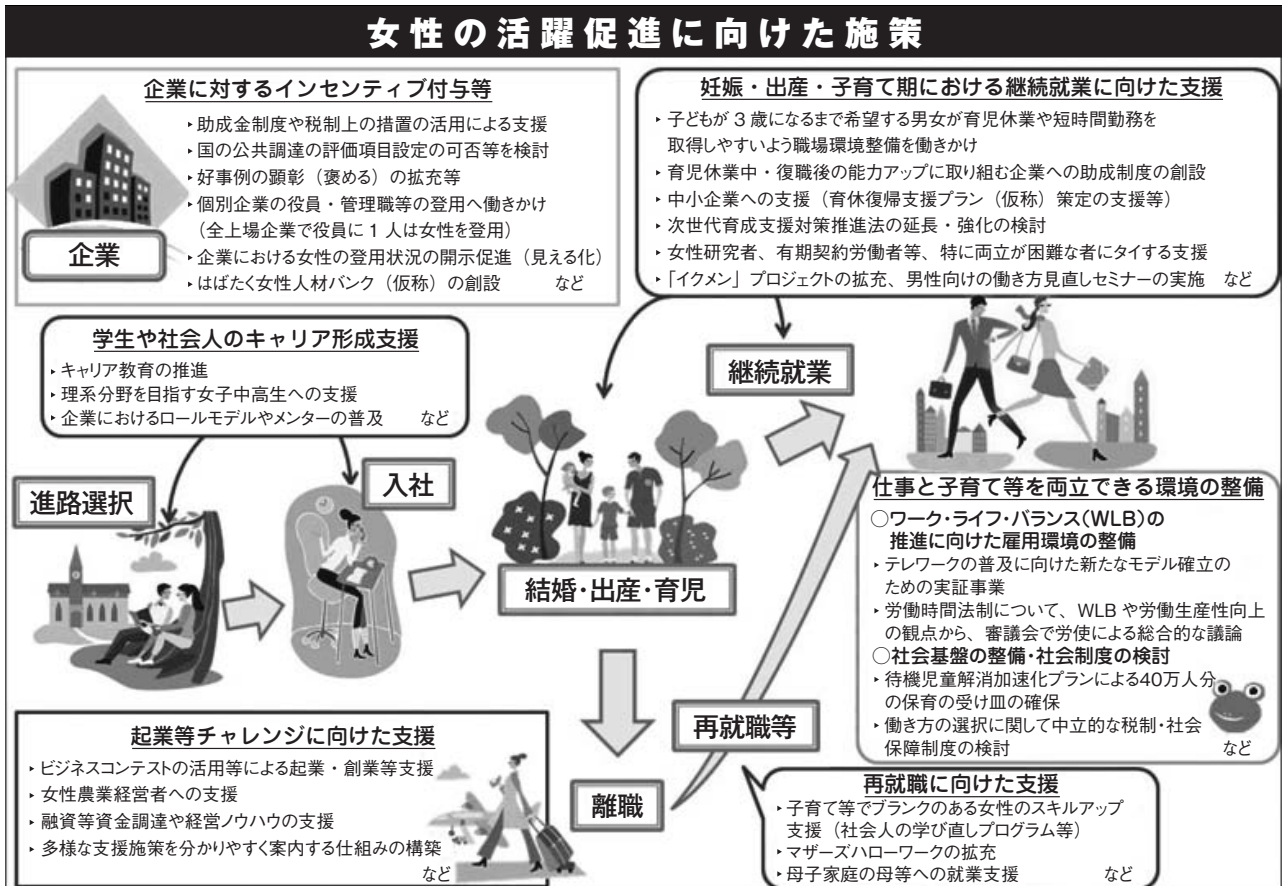
本年4月、内閣総理大臣は、男女共に仕事と子育てを容易に両立できる社会の実現が重要とした上で、経済界に対し、女性の活躍推進に関して要請(※1)を行いました。

これに続く成長戦略スピーチでは、女性の活躍を成長戦略の中核に位置付け、待機児童解消加速化プラン、希望に応じて子育てに専念した後の職場復帰

支援、子育て後の再就職・起業支援といった取組みを打ち出しました。

内閣総理大臣のリーダーシップによる政策方針を受けて、関連施策が可能なものから順次展開されており、従来の取組の強化・加速化、新たな取組の具体化も図られています。

※1 希望する場合には、男女とも3年までの育児休業や短時間勤務を取得しやすいようにすること、「2020年30%」の政府目標の達成に向けて、全上場企業において積極的に役員・管理職に女性を登用することの2点を各経済団体に要請しました。



若者・女性活躍推進フォーラム提言の概要

## 女性と労働～ここが気になるいまの日本～

講師：ジャーナリスト・和光大学現代人間学部教授  
竹信 三恵子氏

安倍首相は成長戦略の柱として「女性の活用」を打ち出していますが、女性が働くことにおいてどんな問題が起きているのか、どうすればしあわせに働ける社会になるのかをともに考えるために、ジャーナリストで和光大学教授の竹信三恵子氏をお招きして講座を開催しました。

日本の女性は昔に比べて随分活躍しているように思えます。しかし、実は女性が働く環境はあまり変わっていないどころか、むしろ悪い状況でさえあります。今私達はどのような社会に住んでいるか、何が問題でそれをどう変えていけばよいかお話ししたいと思います。

### ◆私たちは今どんな社会に住んでいるか

日本の女性の活躍度はGEM（ジェンダーエンパワーメント指数）で57位/109カ国、また、GGI（ジェンダーギャップ指数）で101位/135カ国と先進国の中でもかなり低い位置にとどまっています。これらの根底をなす要因は議員や管理職に女性の占める比率が低いことと賃金格差及び雇用形態に問題があると考えられます。

日本は未だ男性社会への固執があり、併せて1985年の男女雇用機会均等法制定の後エスカレートした長時間労働のため、女性は結婚・出産を機に退職し子育てが一段落してから再就職するケースが後を絶ちません（M字雇用）。また経済力でみると、女性の賃金は男性の70%、短時間労働者やパートでは男性正社員の50%です。働く女性の大半が非正規労働者であるうえに、税制（いわゆる「103万・130万の壁」）や年金制度（3号被保険者の問題）が足かせになって女性の本格的な社会進出は阻まれてきました。近年、男性や若年層にも増え広がった非正規労働は深刻な社会問題となっています。かつての男性だけが働いて家族を養う古いモデルは既に限界がきており、日本社会は変革を迫られています。

### ◆新しい豊かさを目指した各国のワークライフバランス政策

・スウェーデンは女性が外に働きに行くようになり納税者となったことが税金の増収につながり、その増収分で必要な保育園や介護施設をつくりました。また、そこで働く保育士・介護士を中級公務員ぐらいの賃金で雇うことにより新しい雇用も生まれ、女性が外に出やすくなりました。

・オランダはもともと専業主婦の多い国でしたが、産業構造の基幹をなす製造業の撤退により失業者



が急増し、女性も働かざるをえなくなりました。赤字財政で必要なだけの保育園を設置できなかったため、保育園の受け入れ可能な範囲に合わせて1人当たりの労働時間を減らしながら雇用を確保するワークシェアリングを導入しました。併せて、パートと正社員で時給や待遇に差をつけることを禁じるなど賃金差別をなくし、税や社会保障費も応分負担とする（均等待遇パート）ことにより、働き方の選択肢が広がり、働く女性が増えました。

・ノルウェーは、1年間の育児休業期間のうち約1ヶ月は必ず男性が取らなければいけないというパパクオータ制をつくったことにより、女性を雇用する会社が不利にならないようにしました。女性の収入が多いカップルなどでは双方が半分ずつ育児休業を取るようになり切り替わってきています。

・米国は、企業経営改革の一環として早く帰るための方策を皆で話し合っただけでそれを実行しています。それが結果的には職場のためにも労働者のためにも働き易い職場になります。

他に、フランス、シンガポール、香港のように労働力の不足（例として家事育児をするメイド等）を外国人労働者によって補う事例がありますが、これは国際的な人権問題に発展するようなトラブルも多く、とても難しい仕組みが必要になるので、容易に選択はできません。

### ◆女性活用への処方箋

では日本の女性たちがしあわせに働く社会になるために何が必要なのでしょう

#### ①会社の実態の情報公開

例えば、男女の賃金差はあるのか、女性の管理職は何%かなどをホームページ等で公開することを義務づける。これを実施することで、会社は恥ずかしく思い改善する動機になるとともに、学生が就職先を選定するうえでも非常に有効です。

#### ②適正な基準を満たす保育所と介護へ予算の組み替え

現在のように数だけを増やしても、基準の緩和をしては適正な基準を満たす保育所は期待できません。育児助成を引き上げることにより、設備の完

備・保育士の正規雇用を確保することが自治体の使命であり、それが待機児童の解消、ひいては女性の雇用にもつながります。

### ③柔軟な労働時間と均等待遇

オランダのように、労働時間差別を禁止し短い時間だけ働くことを可能にするとともに、賃金も働くことによる権利も正社員と均等待遇とすることが必要です。

### ④男性を含めた労働時間規制や休息時間の導入

欧米が男女共通の労働時間規制を行ったのとは逆に、日本では男女雇用機会均等法後様々な規制をなくし、男女共通の過重労働を強いる動きを加速させ、ついに世界一の長時間労働国となりました。女性の晩婚化、出生率の低下は全てこのひどい労働時間に起因しており、このまま野放図に放置しておくことは許されません。

### ⑤女性議員のクォータ制と女性登用数値目標の継続・強化

クォータ制は世界の100カ国くらいが実施していますが、日本では反対意見もあり、あまり進んでいません。ちなみに日本は女性議員比11.3%で世

界92位(2001年)だったのが過去最高で、現在は7.9%と世界平均の19.3%には遠く及びません。なぜクォータ制が必要かという点、日本のように男性が圧倒的に多い議会では男性の意見が優先され、保育や介護のように女性に負担を強いている問題については女性議員の発言が無視されたり疎かにされる傾向があります。政府も2020年までに3割という目標を掲げているが、その体制づくりが遅れており、ちょっと曖昧で確証はない状況です。

女性登用数値目標の継続・強化も同じく難しい課題といえます。日本女性の管理職比率は係長で13.8%、課長級で7.2%、部長級で4.9%です。この状況で会社の意思決定の場で“女性に働きやすい仕組みにしましょう”とはとても言えるわけがありません。ここでもやはり長時間労働で会社に滅私奉公しないと管理職は務まらないとの思いが女性を躊躇させる一因となっています。

国際社会での女性の活用競争は、昨今、管理職から取締役に変換しています。ILOの調査では女性管理職の平均は今や3割になっており、企業の頭脳部分である取締役の決定で会社が動かせるということで、従来のように下から決めていくよりも会社を迅速に変えることができるようになりました。従って、いかに取締役に女性を多く入れて女性が働きやすい仕組みに変えるかがポイントとなってきています。

これからは、国において働き方の基盤や仕組みを変え、男女ともに働きやすい社会をつくっていかなくてはなりません。働く人は何に困っているのか、そしてどんなリスクを抱えているのかをきちんと把握し、企業に対しても規制も含めて毅然と言うべきことを言っていくような政策に切り替えていくこと、男性も女性も共にやっていくことを底に据えて皆が協力していくことが第一歩です。



## 時事問題

講師：朝日新聞山口総局長 神谷 裕司氏

6月29日(土)、朝日新聞山口総局長の神谷裕司氏を講師に、時事問題の講座が開かれました。講座当日の新聞を手元に置き、また同じトピックスの報道記事を時系列で追った資料も交えながら、今の日本がかかっている問題について解説していただきました。

アベノミクスの功罪、橋下大阪市長の従軍慰安婦をめぐる発言とその経緯、今回の参議院選に向けた各党の動きと県内の状況、初のネット選挙解禁について、そして原発事故をどう考え今後原発をどうしていくのかなど、受講生も関心の高い内容ばかりで、講義の終わりには熱のこもった質疑応答が相次ぎました。





## アベノミクスとは

講師：山口大学大学院技術経営研究科教授  
稲葉 和也氏

6月15日、稲葉和也山口大学大学院技術経営研究科教授を講師にお迎えし、「アベノミクス」についての勉強会を行いました。

安倍首相の経済政策

「アベノミクス」の3本の矢とは、

第1の矢「金融政策」

フリードマンの学説に基づいて大胆な金融緩和を行い、2%の物価上昇率を目標とするもの。

第2の矢「財政政策」

ケインズの学説を基にした公共工事による国土強靱化（防災、老朽化インフラ対策）をはかるもの。

第3の矢「成長戦略」

貿易・産業投資立国を目指すことや雇用制度改革を行うこと。

アベノミクスの目標とするところは、デフレ脱却と名目（金額ベースでの）3%成長ですが、そもそもこの3本の矢を同時に放つことには問題があります。それぞれ対立関係にある学説が基になった経済政策が同時に行われることは、矛盾を生じさせるからです。

デフレ脱却のために無理やり人為的にインフレを起こすことをリフレとよびます。インフレになれば景気がよくなるのではなく、景気がよくなってインフレが起こるのです。日本で過去に起きたインフレは円安によるインフレでした。現在円高で輸出企業が窮地だという報道が盛んにされていますが、逆に円安は日本国債の下落をもたらし、金融危機にもつながる可能性があります。危険をはらんでいます。デフレと不況は異なるものなのです。また、インフレのメリットというものは存在しません。リフレ政策を行うために政府は日銀法を改正し、そのことで中央

銀行の独立性も危うくなっています。インフレが起きるためには、雇用が増え、給料が上って需要が増え、その結果物価が上昇することが必要なのです。

第2の矢の財政政策で、補正予算を

組んでまで公共事業を行うことは、無駄なものと借金を残すのみです。世界の先進国は低成長時代を迎えています。日本も人口減少、経済の成熟化で成長力自体が落ちており、将来成長しないという見通しは変わりません。一国の経済も貿易で日銭を稼ぐ時代から、蓄積した資産の運用、活用の時代、つまりフローからストックの時代に入ったといえます。

日本はこれまでのノウハウなどの経済にとって大きな財産が膨大に蓄積されています。また、日本文化やライフスタイルも世界的に貴重で高い価値があると評価を受けています。標準的な製品を高品質化し低価格で売る通貨安競争をすれば、日本は勝ち目がありません。日本は、無形の価値を持つ人間のアイデアや文化、ライフスタイルの厚み、歴史、独自性が発揮されるようなソフト面で勝負をすべきです。

日本経済にとって必要なのは雇用なのです。それは人間こそが経済を動かす力であり、社会を豊かにするものだからです。働くことを通して学ぶ機会を得、やりがいを持って働くことができるような仕事、すなわち人的資本の蓄積をもたらす雇用を増やすことが唯一の日本経済の改善策です。これは特に若年層にとって重要なので、政策としては若年雇用の確保と質の向上に全力で取り組むべきです。日本経済が新しい現在の世界経済構造のなかで、新しい役割を担うとき、それは全て「人」にかかっています。「人」

に新しい構造のなかで、新しい役割を持たせ、新しい働き方をつくっていくために、政府の政策は動員されるべきです。

～質疑応答の中から～

Q：山口県の経済における現状と問題は？

A：山口県の人口減少は深刻。このまま進むと県としての体裁をなさない、魅力がない県になり、人口流出にも歯止めがきかなくなる恐れがあります。県内にある技術を使って新しい産業をつくり、売り込むことを真剣に考えるべき時です。



## スペイン料理教室

講師：山口県国際交流員 ホルヘ・ガルエ氏

6月23日カリエンテ山口でスペイン料理教室が開催され、親子連れを中心に32名の方々が参加されました。講師は山口県国際交流員でスペイン出身のホルヘ・ガルエ氏で、料理もお上手ながらそれにもまして日本語も堪能でした。

メニューはスペインと言えばご存知パエリア、ピクニックなどで人気のあるエンパナダ（ピーマンやツナが具材のパイ）、夏にぴったりのガスパチョを3グループに分かれて先生の指導のもと協力しながら作りました。



今回は山口大学のタイ・台湾留学生4名が参加してくれました。スペイン料理は初めてと興味津津で楽しそうに作っていました。特にタイ留学生が包丁で皮をむくときの刃先が日本とは逆で、向こう側に押してむくのびっくり。彼らにとって日本のむき方は怖いそうです。



エンパナダは生地をこね発酵に時間がかかったものの、オープンから取り出すと見事な焼き上がりに歓声が起こりました。

試食会では皆が美味しくいただき、特にエンパナダは日本のパイと違いピーマンやツナなどが入った珍しい味で好評でした。

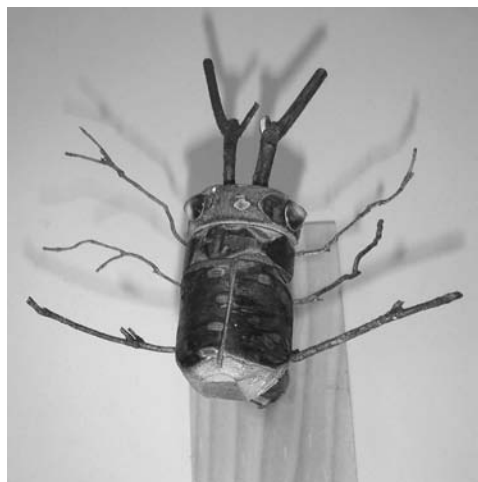
食後は留学生との歓談で、日本語の上手さに参加者の皆さんが感心していると、留学生も機会があればまた参加したいと言われ、和気あいあいとした雰囲気の中終了となりました。

## 工作教室

平成25年8月3日と8月10日の午前と午後各2回ずつ、計4回の工作教室が開かれました。数々の作品例の中から、今年は小枝を使ってカブトムシ、クワガタ、セミの他、トンボや小鳥を作りました。

普段扱い慣れていない剪定ばさみや、グルーガンなどの道具を教わったとおりに慎重に使いながら、

胴体、足、角を組み合わせていくと、木の端材が不思議と生き物らしく見えて表情が出てくるのが不思議です。子どもはもちろんのこと親が熱中して自分の作品を作る姿も見られ、宝物のように手放さずにでき上がった作品を持ち帰る様子が印象的でした。



### 第5回男女共同参画センターフェスティバル

日時：平成25年10月26日（土）10時～15時

場所：山口市男女共同参画センター、  
市民会館大、小ホール、展示ホール、中庭  
大ホール

【講演会】

- 時間 13時～15時（開場12時）
- テーマ 「胸にはエプロン、口にはシャンソン」
- 講師 料理愛好家、シャンソン歌手  
平野 レミ氏

#### ★平野レミ氏 プロフィール

フランス文学者、平野威馬雄氏の長女として東京に生まれる。主婦として家庭料理を作り続けた経験を生かし、「料理愛好家」として活躍。

“シェフ料理”ではなく、“シユフ料理”をモットーに、テレビ、雑誌などを通じて数々のアイデア料理を発信。また、講演会、エッセイを通じて、明るく元気なライフスタイルを提案するほか、特産物を使った料理で全国の村おこしなどにも参加し、好評を得る。

- 定員 1500人  
（先着順 定員になり次第締め切ります）
- 参加費 無料
- 託児 無料（要申込）

小ホール

【子育てワークショップ】

「観て、やって、感じて、楽しもう ジャグリングに挑戦！」

講師：STOKE BUM 主宰 吉田武則氏

参画センター

【国際交流ワークショップ】

「もっと知りたい中国文化」

- 時間 10時～11時30分
- 参加費 無料

【センター登録団体活動発表】

全ての申し込み先・問い合わせ先

山口市男女共同参画センター 〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号（山口市民会館事務所2階）

TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

展示ホール

【団体活動紹介】

- 時間 10時～

中庭

【ジャグリング公演】

- 時間 11時30分

【家族でファッションコンテスト

—イクメン・イクジイの参加大歓迎—

- 時間 11時45分～
- 定員 保護者と子ども10組

【ぜんざい（無料）】 【特産品・パン販売】

- 時間 10時～

【しっちゃん鍋（無料・300食限定）】

- 時間 11時30分～

申し込み先、方法

はがき・FAX・Eメールのいずれかでお申し込みください。（電話は不可です）

講演会に関しては入場整理券を送付します。

申込み締め切り／平成25年10月18日（金）必着  
手話通訳あり、託児無料（要申込）・要約筆記（要申込）

### 男女共同参画統計データブック による社会学入門講座(全5回)

統計データをつかって、男女共同参画社会をつくるための基本的な考え方を学びます。

講師 山口大学名誉教授 小谷典子氏

内容 第3回 9月28日(土)…労働と仕事

第4回 11月30日(土)…階層と不平等

第5回 1月18日(土)…社会参加とまちづくり

場所 山口市男女共同参画センター 視聴覚室

参加費 無料・託児あり(要申込み)

1回のみ受講可

## おんなの目 おとこの目

先日竹信先生の講演を聴いて、昔は「寿退職」なんて言葉あったなあと思い出していました。私の昔勤めていた会社では、女子社員は結婚すると必ず「寿退職」していました。昔と言っても30年位前の話です

が、その頃はいわゆる「バブル」の頃で、何とかやっていけた時代だったのかもしれませんが。

それから、バブルがはじけ、デフレの世の中になってくると、女性の働くことに対する価値観も変わってきたのでしょう。結婚して退職することが「祝い」でなくなり、子育てをしながら自分のキャリアを活かして働くという社会に変化する状況に

なっています。

アベノミクスの第三の矢「成長戦略」の1行目に「女性の活用」というのがあります。概要は今号に掲載していますが、様々な施策があります。これらが日本全体に浸透し、アベノミクスを牽引する施策にすることができれば、これからの日本がよりよい社会になっていくのではないかと思います。